

ローバーフロアブル

版番号 1/J
102000037754

4/11

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

注意事項 漏出した製品や汚染された表面との接触を避けること。保護具を使用する。

6.2 環境に対する注意事項 地表水、排水口、地下水に入らないようにすること。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

除去方法 汚染された床や物を徹底的に清掃し、環境規制を遵守すること。不活性の吸収材（例えば、砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず）で吸収させる。廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

追加アドバイス ローカルサイトの手順についても確認してください。

6.4 参照すべき他の項目 安全な取り扱いに関する情報は第7項を参照すること。
個人用保護具に関する情報は第8項を参照すること。
廃棄物処理に関する情報は第13項を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

安全取扱注意事項 開封されていない包装/容器を取り扱うときは特に注意する必要はない。関連するマニュアルハンドリングのアドバイスに従うこと。適切な排気装置が設置されたエリアでのみ使用する。

技術的対策 熱や発火源から遠ざける。

接触回避・衛生対策 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。作業服は別に保管する。取扱い後、食べたり、飲んだり、ガムを噛んだり、タバコを喫煙したり、トイレを使用したり、化粧品を使用する前に、石けんと水で徹底的に手を洗うこと。使用中は飲食及び喫煙を禁止する。

7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

安全な保管条件 納品時の容器でのみ保管する。低温で、換気の良い場所で容器の栓をしっかりと閉めておく。保管場所には、許可された者のみが入り出す。凍結から守る。

一般的な保管について 食物、飲み物、飼料から遠ざける。

安全な容器包装材料 HDPE（高密度ポリエチレン）

7.3 特定の最終用途 ラベルおよび/またはリーフレットを参照すること。

ローバーフロアブル

版番号 1/J
102000037754

5/11

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理濃度

成分	CAS RN	管理濃度	更新日	基準
フルオピコリド	239110-15-7	2.2 mg/m ³ (TWA)		OES BCS*
トルエン	108-88-3	20 ppm (TLV)	04 2009	JPISHL OEL
トルエン	108-88-3	188 mg/m ³ /50 ppm (TWA)	05 2010	JPJSOH OEL
トルエン	108-88-3	20 ppm (TLV)		OES BCS*

*OES BCS: Bayer AG クロップサイエンス部門内 "Occupational Exposure Standard"

生物学的職業暴露限度

成分	CAS RN	パラメーター	生物学的試料	試料採取時期	濃度又は濃度範囲	基準
トルエン	108-88-3	トルエン	尿	試料採取時期: 週の後半の作業終了前2時間以内	0.06 mg/l	JSOH OELB
トルエン	108-88-3	トルエン	血液	試料採取時期: 週の後半の作業終了前2時間以内	0.6 mg/l	JSOH OELB

8.2 曝露防止

保護具

通常の使用および取り扱い条件では、ラベルおよび/またはリーフレットを参照してください。それ以外の場合は、以下の推奨事項が適用されます

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

呼吸用保護具は、封じ込め及び/又は局所排気装置など、発生源からのばく露の軽減対策を取ったうえで短時間の活動の残留リスクを管理するために使用すること。装着及びメンテナンスに関しては製造元の説明書に従うこと。

手の保護具

CEマーキング (または同等) のニトリルゴム手袋を着用してください (最小厚さ0.4 mm)。汚染されたときは洗い流し、内部が汚染されたり、穿孔されたり、外部の汚染物質を除去できないときは処分してください。食べたり、飲んだり、喫煙したり、トイレを使用する前に、頻繁に手を洗うこと。

手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。

ローバーフロアブル

版番号 1/J
102000037754

6/11

改訂日: 2022/08/01
印刷日: 2022/08/01

眼、顔面の保護具	欧州規格EN166(Field of Use;5)又は同等規格に適合するゴーグル型保護眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	標準的なつなぎの作業服とカテゴリー3タイプ4の化学防護服を着用すること。 重大なばく露のリスクがある場合は、より高機能の防護服を検討すること。 可能であれば、2層の衣類を着用すること。 ポリエステル/綿または綿のオーバーオールを化学防護服の下に着用し、よく洗濯すること。
一般的な保護措置	適切な保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質の基本情報

物理状態	懸濁液
色	白色からベージュ色
臭い	無臭
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	6.0 - 8.0 (100 %) (23 ° C)
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	引火しない
可燃性	データなし
自然発火点	データなし
発火温度	> 470 ° C 自然発火物質ではない。
最低点火エネルギー	データなし
自己促進分解温度 (SADT)	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界 (上限値)	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界 (下限値)	データなし
蒸気圧	データなし
蒸発速度	データなし
相対ガス密度	データなし
相対密度	データなし

ローバーフロアブル

版番号 1/J
102000037754

7/11

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

密度	約 1.22 g/cm ³ (20 ° C)
水に対する溶解度	完全混和
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	フルオピコリド: log Pow: 2.9(pH 7)
粘度	95 - 130 mPa. s (20 ° C) 速度勾配 100 /s 220 - 320 mPa. s (20 ° C) 速度勾配 20 /s
動粘性率	データなし
表面張力	28 mN/m
酸化特性	データなし
爆発性	データなし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性	通常の状態では安定。
10.2 化学的安定性	推奨保管条件下では安定。
10.3 危険有害反応可能性	規定の指示に従い保管・取扱いした場合、危険有害性反応は起こらない。
10.4 避けるべき条件	極端な温度と直射日光。
10.5 混触危険物質	他の容器に移し替えて保管しないこと。
10.6 危険有害な分解生成物	通常の実取扱い条件下では分解生成物はなし。

11. 有害性情報

11.1 毒性情報

急性毒性 (経口)	LD50 (ラット) 2,500 mg/kg
急性毒性 (吸入)	ATE (混合物) > 5.0 mg/l ばく露時間: 4 h 計算による方法
急性毒性 (経皮)	LD50 (ラット) > 4,000 mg/kg
皮膚腐食性/刺激性	皮膚 刺激性なし (ウサギ)

ローバーフロアブル

版番号 1/J
102000037754

8/11

改訂日: 2022/08/01
印刷日: 2022/08/01

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 わずかな刺激性 - 表示は必要なし (ウサギ)

呼吸器感作性又は皮膚感作性 呼吸器系:
データなし
皮膚: 皮膚感作性なし (モルモット)
OECD Test Guideline 406, Buehler test

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

フルオピコリド: 入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

フルオピコリドは、動物実験において特定の標的臓器毒性を示さなかった。

生殖細胞変異原性

フルオピコリドは、in vitro及びin vivo試験における遺伝毒性の重みから、変異原性及び遺伝毒性は認められなかった。

発がん性

フルオピコリドは、高用量レベルでマウスの次の器官における腫瘍の発生率が増加した: 肝臓。げっ歯類で腫瘍を誘発する機構および観察される腫瘍の種類は、ヒトには関係しない。

生殖毒性

フルオピコリドは、ラットの2世代研究では生殖毒性を引き起こさなかった。

発生毒性

フルオピコリドは、ラットおよびウサギにおいて発生毒性を引き起こさなかった。

誤えん有害性

入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

魚毒性

LC50 (Cyprinus carpio (コイ)) 2.7 mg/l
ばく露時間: 96 h
有効成分換算での推定製剤毒性値

魚類に対する慢性毒性

Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)
NOEC: 0.155 mg/l
ばく露時間: 33 d
有効成分フルオピコリドによる値

水生無脊椎動物に対する毒性

EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)) > 3.75 mg/l
ばく露時間: 48 h
有効成分換算での推定製剤毒性値

ローバーフロアブル

版番号 1/J
102000037754

9/11

改訂日: 2022/08/01
印刷日: 2022/08/01

水生無脊椎動物に対する慢性毒性 NOEC (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.19 mg/l
ばく露時間: 21 d
有効成分フルオピコリドによる値

水生植物に対する毒性 ErC50 (藻類) > 8.9 mg/l
成長速度; ばく露時間: 72 h
有効成分換算での推定製剤毒性値
ErC50 (Skeletonema costatum) 0.073 mg/l
成長速度; ばく露時間: 72 h
有効成分フルオピコリドによる値
EC10 (Skeletonema costatum) 0.0424 mg/l
成長速度
有効成分フルオピコリドによる値

12.2 残留性・分解性

生分解性 フルオピコリド:
急速な生分解性は認められない

Koc フルオピコリド: Koc: 321

12.3 生体蓄積性

生体蓄積性 フルオピコリド: 生物濃縮係数 (BCF) 121
生物濃縮なし

12.4 土壌中の移動性

土壌中の移動性 フルオピコリド: 中程度

12.5 PBT および vPvB の評価結果

PBT および vPvB の評価 フルオピコリド: 生物濃縮性で有毒な難分解性化学物質 (PBT) とはみなされない。高生物濃縮性で高難分解性化学物質 (vPvB) であるとは考えられていない。

12.6 その他の有害影響

生態系に関する追加情報 本製品自体のデータは、無い。

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等産業廃棄物に関する法律、都道府県および市町村の関連条例に従って処理すること。

ローバーフロアブル

版番号 1/J
102000037754

10/11

改訂日: 2022/08/01
印刷日: 2022/08/01

14. 輸送上の注意

国内規則

鉄道および道路輸送	非該当
指針番号	171
海上輸送	船舶安全法の規制に従う。
航空輸送	航空法の規制に従う。

包装、容器が破損しないように水濡れや乱暴な取扱いを避ける。

IMDG

14.1 国連番号	3082
14.2 品名（国連輸送名）	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (FLUOPICOLIDE SOLUTION)
14.3 国連分類	9
14.4 容器等級	III
14.5 海洋汚染物質	該当

IATA

14.1 国連番号	3082
14.2 品名（国連輸送名）	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (FLUOPICOLIDE SOLUTION)
14.3 国連分類	9
14.4 容器等級	III
14.5 環境危険有害性マーク	該当

15. 適用法令

15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

農薬取締法

登録番号 : 24482 (Bayer CropScience K.K.)

消防法

非該当

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物

トルエン <= 0.12 %

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法（PRTR）

第1種指定化学物質

化学名	番号	含有量 (%)
-----	----	---------

ローバーフロアブル

版番号 1/J
102000037754

11/11

改訂日: 2022/08/01
印刷日: 2022/08/01

ポリ (オキシエチレン) =アルキルエーテル (アルキル基のC=12~15までのもの及びその混合物に限る)	407	3.3
-------------------------------------------------------	-----	-----

16. その他の情報

1. 本資料の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、記載内容は新しい知見により改訂されることがあります。
2. 記載の注意事項は通常の取扱いを対象とした参考情報です。取扱いの際は用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。
3. 本資料は情報提供の目的のために作成されたものであり、その記載内容を保証するものではありません。

中毒の緊急問い合わせ先 : 公益財団法人 日本中毒情報センター (事故に伴い、急性中毒の恐れがある場合に限る)

中毒110番 一般市民向け相談電話 医療機関専用有料電話
(情報提供料:無料) (情報提供料:一件2,000円)

大阪 (365日、24時間対応) 072-727-2499 072-726-9923

つくば (365日、9時~21時対応) 029-852-9999 029-851-9999

医療機関の方が一般市民用電話を使用された場合も、情報料1件につき2,000円を徴収します。

最も最近の版以降の変更は、余白に特記してあります。この版は、これまでの全ての版に代わるものです。